

「箕面市・豊能町の今後の消防需要に基づく消防力保全計画」(案)の 方向性の確認について

消防力適正配置検討特命チームでの検討に基づき策定した消防力保全計画(案)について、課題を共有し、方向性を確認するもの。

1 特命チームでの検討の経過

(開催日と検討事項)

- ・第1回 平成29年3月7日 消防の課題の共有、今後の検討方針について
- ・第2回 平成29年5月19日 将来の消防需要と必要な消防・救急体制について
- ・第3回 平成29年8月22日 消防署の配置の現状と管轄範囲等について
- ・第4回 平成29年10月20日 理想的な消防署配置の検証と建築規模等について

2 消防力の課題

①救急件数の増加

- ・人口の増加と高齢化で救急件数は10年前の約1.3倍となっている。
- ・箕面市・豊能町の人口は、2025年をピークに減少するが、後期高齢者の増加に伴い救急件数は増加する。
- ・2055年には2016年に比べ、人口は21,958人減少するものの75歳以上の後期高齢者は14,215人増加し、救急件数は1,822件増え9,248件となる。【別表1】
- ・現場到着時間の平均は10年前に比べ2分以上伸びているが、現体制(2016年)のままでは今後さらに伸びてしまう。

②箕面市の施設の老朽化と付帯設備の整備

- ・本署、東分署、西分署のうち東分署と西分署は竣工から40年以上経過し、建物や付帯設備の老朽化が進んでいる。
- ・西分署は女性職員用施設が未整備である。
- ・豊能町内の2施設は比較的新しい。

③消防署の配置と人口重心の乖離

- ・現在の箕面市南部市街地の消防施設は、西部地域に人口重心があった時に整備されており、現在の人口重心（萱野1丁目）とは乖離している。
- ・豊能町及び箕面市北部地域の消防施設は、人口密集地域にあり、人口重心とも乖離していない。

3 課題への対応策（案）

（1）将来の消防需要に対応した消防隊と救急隊の編成案

- ・救急隊1隊あたりの出動件数を2016年と同程度の約1,300件とするために、救急隊は2017年からの体制である7隊を維持する必要がある。

【救急隊の体制】

	2016年	2017年	2025年	2035年	2045年	2055年
出動件数	7,426 件	救急隊 6隊→7隊	8,614 件	9,427 件	9,152 件	9,248 件
隊 数	6 隊		7 隊	7 隊	7 隊	7 隊
件数/隊	1,238 件		1,231 件	1,347 件	1,307 件	1,321 件
		6隊の場合	1,436 件	1,571 件	1,525 件	1,541 件

- ・消防隊については、火災・救助件数に大きな増減はないものの、救急件数の増加に伴い、救急連携出動件数が大きく伸びる。
- ・事案が重複した場合など、即時対応できないケースも危惧されることから、2017年からの3隊体制を早期に1隊増隊し4隊体制とする必要がある。

【消防隊の体制】

	2016年	2017年	2025年	2035年	2045年	2055年
出動件数	919 件	消防隊 4隊→3隊	1,037 件	1,106 件	1,083 件	1,091 件
隊 数	4 隊		3 隊	3 隊	3 隊	3 隊
件数/隊	230 件		346 件	369 件	361 件	364 件
		4隊の場合	259 件	277 件	271 件	273 件

（2）人口重心の変化等に対応した消防署数及び配置案

- ・人口重心と乖離のある箕面市南部市街地において、消防署数と配置を検討する必要がある。

- ・市街地のできるだけ広範囲に救急車・消防車が短時間で到着できるよう、現在の署数に拘らず、ゼロベースでバランスの良い配置を考える。
- ・救命率や延焼率のデータから、出動から現場到着まで5分30秒以内とすることが望ましい。
- ・5分30秒で緊急車両が走行できる距離は約2km。到達できる範囲は、消防署を中心とした対角線4kmの正方形となる。
- ・現状の3消防署体制では市街地カバー率は82%程度。カバー率100%として市街地全域で均一した消防サービスを提供するためには、5消防署体制とする必要がある。
- ・現有施設のうち、箕面消防署本署は立地的にも現施設の活用が適切である。
- ・老朽化している2施設のうち、今後の人口動向により対応困難となる東分署は早急に、カバー範囲のロスが大きい西分署は将来的に、それぞれ移転建替が必要である。



(3) 消防署整備のスケジュール案

●優先順位1：(仮称)箕面東B拠点・・・できるだけ早期：最速で2020年度中の開署をめざす

- ・東部地域は現体制でのカバー率が低く、小野原地区の人口増加への対応が急がれる
- ・2018年度（平成30年度）中に用地を確定し基本設計に着手できれば、2020

年度中の開署が可能

●**優先順位 2-①：(仮称) 箕面東A拠点・・・2025年度までの開署をめざす**

- ・国文都市4号線の供用開始や彩都地区の人口定着を見極めつつ、2025年度までに整備開署を目指す
- ・当該拠点の開署に合わせて東分署閉署
- ・(仮称) 箕面東A拠点と(仮称) 箕面東B拠点は、一体的に運用する。

●**優先順位 2-②：(仮称) 箕面中部拠点・・・2025年度中の開署をめざす**

- ・中部地域も現体制でカバー率が低いなか、北大阪急行線延伸などによる大きな変化が見込まれるため優先順位は高い
- ・箕面市北部地域及び豊能町域と南部市街地との連携拠点となることから、消防広域化関連地方債が活用可能（活用期限は広域化から10年となる2025年度）であることから、2025年度中の開署をめざす

●**優先順位 3：(仮称) 箕面西拠点・・・2026年以降**

- ・現時点でのカバー率は高いが、西分署の位置が市域の西端に寄りすぎているためカバー範囲のロスが大きい。
- ・整備の緊急性は低いが、建物の老朽化が進む中、いずれ建替えが必要であり、建替えに際してはカバー範囲のロスが少なくなる場所への移転建替えが望ましい。
- ・当該拠点の開署に合わせて、現西分署を閉署する。

4 豊能町との経費分担について（案）

- ・消防力の増強（人件費増分）は、箕面市と豊能町でルールに基づき按分
- ・箕面市域の消防署の再配置（用地・建設費）は箕面市負担

5 直近の進め方（案）

（１）豊能町との協議

- ・1 隊増隊に係る人件費の増について、早期に豊能町との協議に入る

（２）(仮称) 箕面東B拠点の建設候補地に係る調整

- ・長期間にわたって遊休状態となっている豊川支所前用地を候補地とし、周辺自治会などへの事前説明に入る

【別表 1】箕面市・豊能町における救急予測件数 2020～2055 年

	項 目	合 計	0 - 4歳	5 - 14歳	15 - 54歳	55 - 64歳	65 - 74歳	75 - 84歳	85歳以上
2020年	人口 (A)	160,441 人	5,561 人	16,627 人	77,532 人	17,398 人	21,396 人	15,830 人	6,097 人
	搬送率 (B)	4.93%	7.55%	2.15%	2.35%	3.07%	5.24%	12.49%	27.49%
	予測件数 (A×B)	7,907 件	420 件	357 件	1,822 件	534 件	1,121 件	1,977 件	1,676 件
		【2016年との比較】 (人 口) 3,913人 増 (救急件数) 481件 増、106%							
2025年	人口 (A)	161,310 人	5,288 人	15,609 人	76,491 人	19,341 人	17,392 人	19,325 人	7,864 人
	搬送率 (B)	5.34%	7.55%	2.15%	2.35%	3.07%	5.24%	12.49%	27.49%
	予測件数 (A×B)	8,614 件	399 件	336 件	1,798 件	594 件	911 件	2,414 件	2,162 件
		【2016年との比較】 (人 口) 4,782人 増 (救急件数) 1,188件 増、116%							
2030年	人口 (A)	159,210 人	5,251 人	12,874 人	72,997 人	22,910 人	16,323 人	18,284 人	10,571 人
	搬送率 (B)	5.74%	7.55%	2.15%	2.35%	3.07%	5.24%	12.49%	27.49%
	予測件数 (A×B)	9,136 件	396 件	277 件	1,715 件	703 件	855 件	2,284 件	2,906 件
		【2016年との比較】 (人 口) 2,682人 増 (救急件数) 1,710件 増、123%							
2035年	人口 (A)	155,256 人	5,011 人	12,105 人	68,005 人	23,787 人	18,085 人	15,040 人	13,223 人
	搬送率 (B)	6.07%	7.55%	2.15%	2.35%	3.07%	5.24%	12.49%	27.49%
	予測件数 (A×B)	9,427 件	378 件	260 件	1,598 件	730 件	948 件	1,878 件	3,635 件
		【2016年との比較】 (人 口) 1,272人 減 (救急件数) 2,001件 増、127%							
2040年	人口 (A)	150,102 人	4,713 人	11,710 人	62,769 人	21,881 人	21,425 人	14,314 人	13,290 人
	搬送率 (B)	6.21%	7.55%	2.15%	2.35%	3.07%	5.24%	12.49%	27.49%
	予測件数 (A×B)	9,319 件	356 件	252 件	1,475 件	672 件	1,123 件	1,788 件	3,653 件
		【2016年との比較】 (人 口) 6,426人 減 (救急件数) 1,893件 増、125%							
2045年	人口 (A)	144,755 人	4,553 人	11,060 人	59,031 人	19,514 人	22,208 人	15,894 人	12,495 人
	搬送率 (B)	6.32%	7.55%	2.15%	2.35%	3.07%	5.24%	12.49%	27.49%
	予測件数 (A×B)	9,152 件	344 件	238 件	1,387 件	599 件	1,164 件	1,985 件	3,435 件
		【2016年との比較】 (人 口) 11,773人 減 (救急件数) 1,726件 増、123%							
2050年	人口 (A)	139,829 人	4,427 人	10,512 人	57,074 人	16,371 人	20,383 人	18,771 人	12,291 人
	搬送率 (B)	6.58%	7.55%	2.15%	2.35%	3.07%	5.24%	12.49%	27.49%
	予測件数 (A×B)	9,195 件	334 件	226 件	1,341 件	503 件	1,068 件	2,344 件	3,379 件
		【2016年との比較】 (人 口) 16,699人 減 (救急件数) 1,769件 増、124%							
2055年	人口 (A)	134,570 人	4,266 人	10,183 人	55,092 人	14,391 人	18,190 人	19,351 人	13,097 人
	搬送率 (B)	6.87%	7.55%	2.15%	2.35%	3.07%	5.24%	12.49%	27.49%
	予測件数 (A×B)	9,248 件	322 件	219 件	1,295 件	442 件	953 件	2,417 件	3,600 件
		【2016年との比較】 (人 口) 21,958人 減 (救急件数) 1,822件 増、125%							